公益社団法人
和歌山県理学療法士協会
ニュース
THE WAKAYAMA PHYSICAL THERAPY ASSOCIATION NEWS

2016 August No.78

発行
公益社団法人
和歌山県理学療法士協会

発行責任者: 中 前　和 則
編　集　者 : 上野山 佳男
ホームページ : http://pt-wakayama.or.jp
メールアドレス: w-pt-a@pt-wakayama.or.jp

巻頭言

会長　中前 和則

地域包括ケアシステム構築に向けての協力
～お世話型支援から自立型支援へ～

会員の皆様におかれましては、益々ご活躍のことと存じます。

今、理学療法士及び作業療法士、言語聴覚士のリハ3団体、特に理学療法士は、厚生労働省から大きな期待をかけて頂いてます。国の医療費はかさむ一方でパンク状態となり、介護保険料も上昇し危機的状態にあります。今後、地域医療構想により病院、病床数の適正化を図り、急性期から回復期までの適正な医療体制の構築を図るとともに、維持期（生活期）では、介護保険でのリハ体制への速やかな移行を行い、施設生活ではなく地域（在宅）での生活、介護保険への移行の整備が必要とされています。その様な中、介護保険での課題は、「お世話型の支援」から「自立型の支援」へと軌道修正が必要とされています。

介護保険では、平成12年の導入当初より対象者の自立を促す理念を持ちながら、実際にはお世話型の介護保険活用となり、それが介護保険料軽減の大きな課題となっています。その様な中、私たち理学療法士は、病院や施設等でリハビリテーションを実践するにあたり、患者様の自立（自律）を支援するために日々理学療法を実施しています。

厚生労働省は、そこに目を向け、私たちリハビリテーション専門職に地域での自立支援型の介護保険活用への転換を託してきました。その様な中、大分県杵築市では平成24年、25年に実施されたモデル事業により、理学療法士、作業療法士が地域ケア会議に参加し、自立支援型のケアプラン立案に協力したところ、4000万円を投入して、104億円の経済効果を得たとの結果が出ました。厚生労働省は、これを全国に広めていきたいと考えています。一方、理学療法士にとっては、主に病院や施設であった職域を一気に地域や在宅へと広げる職域拡大の絶好のチャンスになります。

和歌山県も、本年2月に県の担当者とリハ3団体が参加し、大分県の杵築市を視察しました。本年度からモデル事業として、海南市・有田川町・岩出市・九度山町で地域ケア会議等を実施する予定になっています。ここで成果を出し、全県下に広げる予定のようです。

当県協会としましては、県に会員の派遣協力をし、きっちりと成果を出していきたいと考えています。

会員の多くは施設に所属していますので在宅のことは直接関係のないように感じられる方もおられると思いますが、今後の病院や施設運営には、在宅との繋がりがかなり重要となってきます。地域包括ケアシステムの性質上、これが構築されれば病院・施設単位のテリトリーが決まってしまいます。現在の運営上、病院や施設長は理学療法士をあまり地域に出したがらないのですが、会員一人ひとりが、将来を見据え経営陣に地域包括ケアシステム構築の推進、地域ケア会議への理学療法士の参加、介護予防への参画等を強く訴え理解を求めることが必要です。

今のチャンスは、そう長くは続きません。

理学療法士にその力がないと判断されるとリハ3団体ではなく、他の団体に支援を求められてしまい逆にピンチになってしまいます。現に言語聴覚士が少ないので歯科衛生士に摂食、嚥下指導を依頼する方向に向かっています。

県協会では、

1. 今回の組織改革で、11支部を設置し支部長を置き市町村対応の窓口とし、県・市町村との連携を強めます。
2. 引き続き地域ケア推進リーダー、介護予防推進リーダー研修及び関連研修を行います。

3. 本年度中に、事務員を雇用し事務局機能を強化し対外的対応を強化します。

会員の方々におかれましては、地域包括ケアシステム構築に向けての県協会の取り組みにご協力のほど、よろしくお願いいたします。

参議院議員小川克巳先生誕生

第24回参議院選挙におきまして、日本理学療法士協会副会長の小川克巳先生が全国の理学療法士の力の結集により見事に当選されました。そして、政権政党である自由民主党公認の参議院議員が誕生したわけです。

医師会を初め看護協会等、様々なコ・メディカル団体から立候補があり、厳しい中での負けられない選挙でした。当選して、本当に良かったと思います。

今後は、平成30年に迎える診療報酬の同時改定や、従来からの理学療法業界の持つ課題に対し、大いなる効果を期待したいと存じます。

小川先生からの3つの挑戦

1. 幸福な国民生活に資するリハビリテーション・介護・医療の体制づくり
2. リハビリテーション専門職及び介護専門職の処遇改善への努力
3. 高齢者、障がい者の尊厳ある自立生活の保障

に、具体的かつ実効性のある政策を提案して参ります。

組織力強化と会員が総活躍できる組織作り

さて、本年度も約80名の新入会があり、会員は1145名となりました。会を代表いたしまして、晴れて理学療法士になられた方々を歓迎し、お祝い申し上げますとともに、新入会員の皆様の今後益々の活躍を祈念いたします。

また、本年度は、5月に役員改選があり、新たに3人の先生方が理事に就任され17人の理事・監事で執行部は運営させていただきます。何卒よろしくお願い申し上げます。

県協会は、引き続き下記の三位一体の発展を目指していきます。

1. 治療技術向上のための卒後教育・学術研鑽が活発に行える組織
2. 県下で広報・公益活動を活発に行い、県民、行政に一定の発言力を持った公益団体として認められる組織
3. 若い会員と後に続く理学療法士を目指す若者たちのため、一定の生活・身分保障の獲得を目指す組織

そういった学術団体、公益団体の要素を持つ公益職能団体を目指して行きます。

そのために、会員が総活躍できる組織作りを行ってまいります。

本年度は、喫緊の課題としての地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みが最重要課題であり、ご協力をお願いします。

また、第56回近畿理学療法学術大会が、11月26日（土）27日（日）の2日間で開催されます。発表、聴講等に参加し必ず成功させましょう。

会員のご協力をお願いします。会員総動員で、未来に繋げる会員が総活躍できる組織を築いていきましょう。

理事会 報告

■平成 27 年度第 6 回理事会　報告■

日　時：平成 28 年 3 月 12 日（土）15:30～18:30
場　所：和歌山ビッグ愛 12 階　協会事務所
参加者：15 名
（出席理事）中前、林、上西、吉冨、森本、前、岩﨑、池田、南、永金、辻中、西川、安井
（出席監事）浦、川村　　（書記）前
委任状：松井、須賀
・会長挨拶：
　年度末の忙しい持期ですが、ご苦労様です。地域包括ケアについてもどんどん前に進んでいます。28 年度も忙しくなると思いますが、よろしくお願いいたします。
1. 議　案
　1）事務員の雇用について
　　地域包括ケアに向けて事務局の業務がより煩雑となってきているため事務員の雇用を考えたい。
　　行ってもらう業務内容を整理する必要あり（会員管理、ブロック連絡業務、文書作成・発送業務等)。
　2）厚生局対外交流部の名称について　→ 次年度の組織改編にあわせて検討する。
　3）次年度の組織について
　　地域包括に向けての受け皿づくりとして、地域局を支部制にしていく（詳細については検討)。
2. 各局からの報告・検討
　1）事務局：
　　①会員異動等について（別紙）　平成 28 年 3 月 7 日現在　会員数：1,080 名
　　②平成 28 年 5 月 21 日日本理学療法士協会臨時事務局長会議開催予定のため、和歌山県理学療法士協会新人研修会と重なる。
　2）学術局：
　　①3 月 13 日県学会開催　会場を医学部校舎 3 階に変更して開催
　　②近畿理学療法士学術大会進捗状況 会場費当日 4,000 円、事前登録 3,000 円に変更し予算 55 万円アップ
　3）福祉・保健局：
　　①訪問リハ研修会、地域リハ講座、他職種協同研修会開催の報告あり。
　　②3 月 26 日和歌山市医療相談会開催予定
　　③3 月 27 日リレー・フォー・ライフ・ジャパンのプレイベントを明和中学校で開催
　　広報局・福祉保健局から各 2 名参加を予定
　4）社会局：
　　①病院協会学術大会シンポジストとして、日高病院　橋尾先生 選出予定（承諾済み）。
　　②3 月 27 日診療報酬研修会に続いて協会指定管理者研修を行う。協会事業費で行う。
　　認定理学療法士のポイント制として扱う。
　5）厚生局：
　　①新年会報告とゴルフコンペ
　　②平成 28 年度新人歓迎懇親会はダイワロイネットを予定(5 月 21 日から 6 月 25 日に変更)
　　③対外交流部の名称について（名称変更についての提案)
　　現在、障害者スポーツへの支援をしているが今後高校野球のメディカルサポートについても支援をしていく。
　　スポーツ活動支援部等の名称等に変更を検討したい。
　6）広報局：
　　①リレー・フォー・ライフ・ジャパンプレイベントを福祉保健局と共同参加予定
　　②近日中にニュース発送予定
　7）紀北地域局：
　　3 月 20 日研修会開催予定
　8）和歌山市地域局：
　　5 月 15 日研修会開催予定

9）中紀地域局：
新人研修2回開催予定
10）紀南地域局：
ブロック勉強会を予定
11）財務局：
①事業終了している局はできるだけ早く決算提出してほしい。
②平成28年度予算案を修正し事務員雇用費を170万とする。
3. その他
1）選挙管理委員会：
平成28年3月23日役員選挙告示　HPへ掲載
2）会長より：
①地域包括ケアシステムの構築について
和歌山市を中心に地域ではどんどん理学療法士協会への依頼・相談が来つつあり、早急に市町村からの依頼への対応に備える必要がある。
②日理協の資料：管理者の人材育成に沿って説明
③事務局機能の強化必要→5月21日全国事務局長会議開催予定し士会組織の強化が必要
④会長より組織案提示（書面提示）
・県協会の組織力強化に向けて、今あるブロックを支部制にしてはどうか。
・過渡期なので、ブロックを残したまま、支部制を敷いていく。
・主な意見
支部制にすることに賛成
協会事業（ブロック）と地域包括事業（支部）との業務を分ける。
名称について検討
地域包括担当局の新設を検討
・日理協の各調査について
急性期、回復期、訪問リハ、通所リハの担当者を決めていく予定

■平成28年度第1回理事会　報告■

日　時：平成28年4月23日（土）15:30～18:30
場　所：和歌山ビッグ愛 12階　協会事務所
参加者：17名＋2名
（出席理事）中前 和則、林 積司、上西 啓裕、吉冨 俊行、森本 昌信、前 裕充、岩﨑 正和、松井 有史、須賀 和明
池田 吉邦、南 和幸、西川 典男、安井 常正、辻中 清晃、永金 宣秀
（出席監事）浦 正行、川村 是安　（オブザーバー）美濃 真豊、林元 光広　（書記）前
・会長挨拶：
平成27年度事業は、全て無事終了いたしました。これも一重に役員の皆様方のご尽力のお陰です。この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。本日は平成28年度定期総会に向けての理事会となります。ご審議の程、よろしくお願い申し上げます。
また平成28年度は、私たち理学療法士にとって大切な年となります。山積する平成28年度課題に向けて、ご審議の程、併せてお願い申し上げます。
1. 議　案
1）復会申請について：
5名の申請者について承認
2）平成27年度事業報告・決算について承認
3）平成28年度事業予算の一部修正について承認
2. 各局からの報告・検討
1）事務局：
①会員異動等について（別紙）　平成28年4月18日現在　会員数：1,064名
復会申請：左畑千佳、五味彩佳、池田愛彩、堀端敦子、稗田静香氏の5名より申請あり。
新入会については地域局からも促しをして頂きたい。
②次回拡大理事会を6月25日に予定していたが新人研修会開催となる。このため、6月12日（日）に変更

③定期総会に向けて事業報告・計画等の確認（最終 4 月 26 日まで）後に印刷業者に発注予定
学術局、代議員は変更修正有り。

2）学術局：
①近畿理学療法士学術大会進捗状況
演題登録開始（査読者の選定開始）、参加費も決定
府県士会学会が 6 月､7 月に集中しているので、近畿学会開催のチラシ配布を予定
②新人研修会ならびに歓迎懇親会を 5 月 21 日から 6 月 25 日に変更する。
③3 月の学術大会無事終了
④総会に合わせた研修会予定（股・膝関節人工関節について）

3）福祉・保健局：
①第 7 回訪問リハビリテーション地域リーダー会議(5 月 20 日・21 日開催)に岩崎理事、林元部長出席
②3 月に会議開催（赤澤部長が県外異動のためメンバーを検討）
③リレー・フォー・ライフ・ジャパン　3 月 27 日（明和中学)、5 月 14・15 日開催（砂の丸広場）
④7 月 17 日介護予防推進キャンペーンについて、例年講師をしていただいている大渕先生が、今年度は東京都に依頼されているので、他の講師を選考する予定
⑤地域リハ講座の委託予算額が 521,000 円から 485,000 円に減額となる。

4）社会局：
①診療報酬研修会（日理協：佐々木先生）の意見を送付して、先生より御礼の連絡有り。
②管理者研修会（日理協：小川先生）の参加者の登録を行う（社会局担当者)。

5）厚生局：
①3 月予定のゴルフコンペを 5 月 8 日に延期開催予定
②県身体障害者スポーツ大会 5 月 8 日運営協力する。
③新人歓迎会 6 月 25 日予定　会場：ダイワロイネットホテル

6）広報局：
①リレー・フォー・ライフ・ジャパン　3 月 27 日（明和中学)、5 月 14 日・15 日開催（砂の丸広場）
②協会ニュースに新入会員のプロフィール掲載したいが、各地の新入会員を把握できているか。
→各地域局より入会案内の広報する（5 月の総会までには入会することを促す）

7）紀北地域局：資料にそって報告
8）和歌山市地域局：資料にそって報告
9）中紀地域局：資料にそって報告
10）紀南地域局：資料にそって報告
11）財務局：
①平成 27 年度決算について、特定資産（情報インフラ資産）の変更について説明
②平成 28 年度予算案修正について提案する。

3. その他
1）和歌山市地域リハビリテーション活動支援事業を和歌山市より受託
2）運営業務の委託について（林元部長より説明）
①和歌山市 15 圏域に 3 カ所ずつ、計 45 カ所の介護予防拠点作りを支援していく。
②和歌山県地域包括支援センター機能強化事業報告（別紙資料）
3）和歌山県高齢者生活支援室より、自立支援型ケアマネジメント推進セミナーの案内あり。
平成 28 年 5 月 27 日（金）　13:20～開催予定
当協会としては、積極的に役員及び会員に参加を勧めていく。
4）熊本・大分震災について
①4 月 19 日：和歌山 JRAT の荒川会長と和歌山リハ 3 団体の長で意見交換会を開催
②JRAT から派遣要請あり　1 チーム参加を決定。和医大リハ部　松嶋翔 PT を派遣(4 月 28 日～5 月 2 日)
③災害義援金について：4 月 22 日開始より 5 月 24 日締め切り
会員に 1 口 1,000 円で義援金をお願いする。
5）事務局機能強化について
①日理協より地域包括ケアシステム推進にあたり、事務局強化の必要性を強調している。
②5 月 21 日の全国事務局長会議を士会長参加の会議へと変更した。
③全国的に事務局の強化と事務所設置が迫られている。
6）地域包括ケアシステムに関連した組織作り（案）：協議

■平成 28 年度定期総会議事録■

日　時：平成 28 年 5 月 22 日（日）10:45～11:40
場　所：和歌山県立医科大学　講堂
開会の辞：事務局長　森本
定足数：出席者数 199 名、委任状 602 名　合計 801 名　現会員数（5 月 20 日現在）1,131 名
　　定款第 20 条の規定により規定定足数の 1/2（566 名）を越え総会成立
会長挨拶：中前和則会長より挨拶
議事録作成者：森本 昌信
出席役員：理事 中前 和則、林 積司、吉冨 俊行、森本 昌信、前 裕充、岩崎 正和、松井 有史、須賀 和明
　　池田 吉邦、南 和幸、永金 宣秀、辻中 清晃、西川 典男、安井 常正、橋尾 学、林元 光広
　　美濃 真豊
　　監事 浦 正行、川村 是安
委任状：理事 上西 啓裕
議長団の選出（執行部に一任の声あり、執行部より選出）
　議　長 1 名：上野山 佳男（日赤和歌山医療センター）
　副議長 1 名：森本 信三（白浜はまゆう病院）
　書　記 2 名：坂口 真啓（琴の浦リハビリテーションセンター）、本田 学（琴の浦リハビリテーションセンター）
議　案：
　第 1 号議案：平成 27 年度協会事業報告
　　1）協会事業報告(中前)および事務局事業報告（森本）
　　総会資料にそって説明
　　2）学術局事業報告（上西：代理 小池）
　　総会資料にそって説明
　　3）福祉・保健局事業報告（岩﨑）
　　総会資料にそって説明
　　4）社会局事業報告（池田）
　　総会資料にそって説明
　　5）厚生局事業報告（南）
　　総会資料にそって説明
　　6）広報局事業報告（吉冨）
　　総会資料にそって説明
　　7）紀北地域局事業報告（永金）
　　総会資料にそって説明
　　8）和歌山市地域局事業報告（辻中）
　　総会資料にそって説明
　　9）中紀地域局事業報告（西川）
　　総会資料にそって説明
　　10）紀南地域局事業報告（安井）
　　総会資料にそって説明
　　11）代議員報告（林）
　　総会資料にそって説明
　　12）紀の国わかやま国体支援特別委員会報告(林)
　　総会資料にそって説明

　　議長は協会事業報告ならびに各局事業報告について出席者に質疑を諮ったところ質疑等は無かった。
　　議長は協会事業報告ならびに各局事業報告について出席者に承認を諮ったところ満場一致で承認された。

　第 2 号議案：平成 27 年度協会決算報告（前）
　　事業決算を総会資料にそって説明
　　議長は協会事業決算について出席者に質疑を諮ったところ質疑等は無かった。
　　議長は協会事業決算について出席者に承認を諮ったところ満場一致で承認された。

第 3 号議案：平成 27 年度事業・決算監査報告（浦）
事業監査結果を総会資料にそって説明
議長は協会事業監査結果について出席者に質疑を諮ったところ質疑等は無かった。
議長は協会事業監査結果について出席者に承認を諮ったところ満場一致で承認された。

第 4 号議案：選挙管理委員の選出について
事務局長森本より理事会において中畑 雅行、原野 晶、山崎 陽平氏を選出したことを報告
議長は出席者に承認を諮ったところ満場一致で承認された。

第 5 号議案：その他
平成 28 年度事業計画ならびに事業予算について資料にそって説明する。
その他、議長は議案がないか問うが無かった。

第 6 号議案： 役員改選について（選挙管理委員長　中畑）
現役員（理事・監事）は本定期総会終了をもって任期満了となるため役員（理事・監事）の選挙をする。
全て定員内の立候補であり、全員信任投票により下記のとおり選任する。
理事：中前 和則、林 積司、上西 啓裕、吉冨 俊行、森本 昌信、前 裕充、岩崎 正和、西川 典男、安井 常正
南 和幸、松井 有史、須賀 和明、辻中 清晃、橋尾 学、林元 光広、美濃 真豊
監事：川村 是安、浦 正行

選任された理事・監事は全員就任の承諾をした。

議長団解任
閉会

■平成 28 年度第 2 回理事会　報告■

日　時：平成 28 年 5 月 22 日（日）12:00～12:30
場　所：和歌山県立医科大学　講堂内
参加者：17 名
（出席理事）中前 和則、林 積司、吉冨 俊行、森本 昌信、前 裕充、岩崎 正和、松井 有史、須賀 和明、南 和幸
西川 典男、安井 常正、辻中 清晃、橋尾 学、林元 光広、美濃 真豊
（出席監事）川村 是安、浦 正行
委任状：上西 啓裕
1. 議　案
・第 1 号議案：会長の選出について
本日開催された定期総会の終了をもって、会長の任期満了退任となったので、議場に諮ったところ下記の者が会長に満場一致で選任された。
会長：中前 和則
選任された中前 和則氏は会長の就任を承諾し、議事録理事・監事が署名、捺印する。

■平成 28 年度第 3 回拡大理事会　報告■

日　時：平成 28 年 6 月 12 日（日）10:00～14:00
場　所：アバローム紀の国 4 階 羽衣の間
参加者：理事 15 名、監事 1 名、相談役 1 名、部長 26 名
（出席理事）中前 和則、林 積司、上西 啓裕、吉冨 俊行、森本 昌信、前 裕充、南 和幸、岩崎 正和、須賀 和明
松井 有史、林元 光広、美濃 真豊、辻中 清晃、橋 尾学、安井 常正　　（委任状）　西川 典男
（出席監事）川村 是安　（出席相談役）髙田 常一
（出席部長）坂口、山崎、原野、三宅、上野山、阪口、前田、川端、石橋、杉本、宮本、奈良岡、佐伯
小橋、西本、川口、脇田、岸尾、槻木、吉田、龍神、山本、佐々木、小早川、武田、西畑
（書記）前

・会長挨拶：
新たな理事・部長に就任の先生方に協力の依頼を告げる（会長所信挨拶資料参照）
1）組織の認識について
教育・学術活動（学術団体）、広報・公益活動（公益団体）、身分・保障（職能団体）の三位一体の発展を説明
2）会長の活動について
3）学術活動（学術活動推進特別委員会）について
4）広報・公益活動（公益活動推進特別委員会）について
5）地域包括ケアシステムの推進について
OT・ST とのリハ3団体の連絡協議会を設立
6）支部制について
県内に 11 支部と支部長を配置
支部活動の推進を促す
7）職能活動について
8）事務局強化について
独立した事務所の設置、事務員の雇用、事務所の購入等
9）その他
熊本・大分災害への義援金について
補助金の獲得について

1. 議　案
1）入会・復会申請（入会申請 78 名、復会申請 3 名）について承認する。
2）介護予防（市町村）事業の委託契約における会員の派遣について
協会と施設との契約について
・岩出市については 10,000 円（諸経費含む）の委託費用とすることで承認
・今後、市町村からの委託金額によりその都度検討していく。
3）相談役について、会長より木下 賢治先生、髙田 常一先生を推薦され全員一致にて承認
4）第 6 回 JIMTEF 災害医療研修ベーシックコースへの受講者について、和医大 松嶋翔氏を推薦することで承認
5）高校野球メディカルサポート事業は和歌山市地域局より厚生局スポーツ活動支援部に移行することで承認

2. 各局からの報告・検討事項
1）事務局：
①新卒入会 77 名、入会申請 1 名、復会申請 3 名（別紙）について承認
平成 28 年 6 月 6 日現在　　会員数：1,145 名
②渉外部を新設　担当：森本
③会員管理について：担当坂口より資料に沿って説明
2）学術局：
①近畿理学療法士学術大会進捗状況について
奈良・兵庫・大阪・滋賀各学会において、広報チラシを配布予定
②協会指定管理者第 1 回中央研修会報告（6 月 5 日開催：上西、西川出席）
日々の理学療法評価（Evaluation）とプロセス管理（PDCA）の重要さを強調する。
伝達講習会を 9 月以降で実施予定
③新人研修会ならびに歓迎懇親会を 6 月 25 日に開催。資料の提出期限は 6 月 13 日
3）広報局：
①「理学療法（士）」の名称はまだまだ認知度が低く、より広く国民・県民に広報すべく活動を予定している。
4）厚生局：
①今年度より福利厚生部・スポーツ活動支援部に名称変更し事業を実施予定
②毎年実施している高校野球メディカルサポートについて（昨年までは和歌山市地域局が実施）今年度より厚生局スポーツ活動支援部が担当する。
5）職能局：
①今年度より新設し診療報酬部・介護報酬部・身分対策部については西川理事
②コ・メディカル団体担当部は南理事担当として事業を実施予定
③今年度の病院協会学術大会はシンポジストとして国保日高総合病院の橋尾先生が担当予定
6）対外活動統括：
岩崎理事より福祉局、保健局、地域包括ケアシステム推進局について説明

①福祉局：
・地域リハ事業推進部では主として地域リハ講座を担当
・障害者（児）福祉部では、難病ボランティア、リゾートキャンプ 事業を実施予定
②保健局：
・リハ支援体制推進部では主として災害関連事業、地域リハマップについて担当予定
・健康推進部では介護予防等の委託事業について担当実施の予定
・広報局、保健局共催にて全国介護予防推進デイ事業(7 月 17 日紀の川市で開催)を企画中
・災害リハ研修会は１つの部局で実施することは困難であり、他局部とのコラボ開催となる予定
③地域包括ケアシステム推進局：
・地域連携推進部、介護予防推進部、県下 11 支部にて事業を実施予定
・和歌山市では元気体操推進の立ち上げを開始しており、現在 16 カ所を予定している。
・広報局、保健局共催にて全国介護予防推進デイ事業(7 月 17 日紀の川市で開催)を企画中
・呼称としては「地域包括ケアシステム推進局」は長いため、便宜上「地域包括推進局」とする。

7）地域局統括：林理事より地域局統括について説明
①紀北地域局：理事、部長ともに一新
②和歌山市地域局：ブロックの名称変更する（3 ブロック）。
③紀中地域局：今年度より「中紀局」から「紀中局」に名称変更する。2 ブロックより 3 ブロックに変更する。
④紀南地域局：地域局予算は現状で必要不可欠

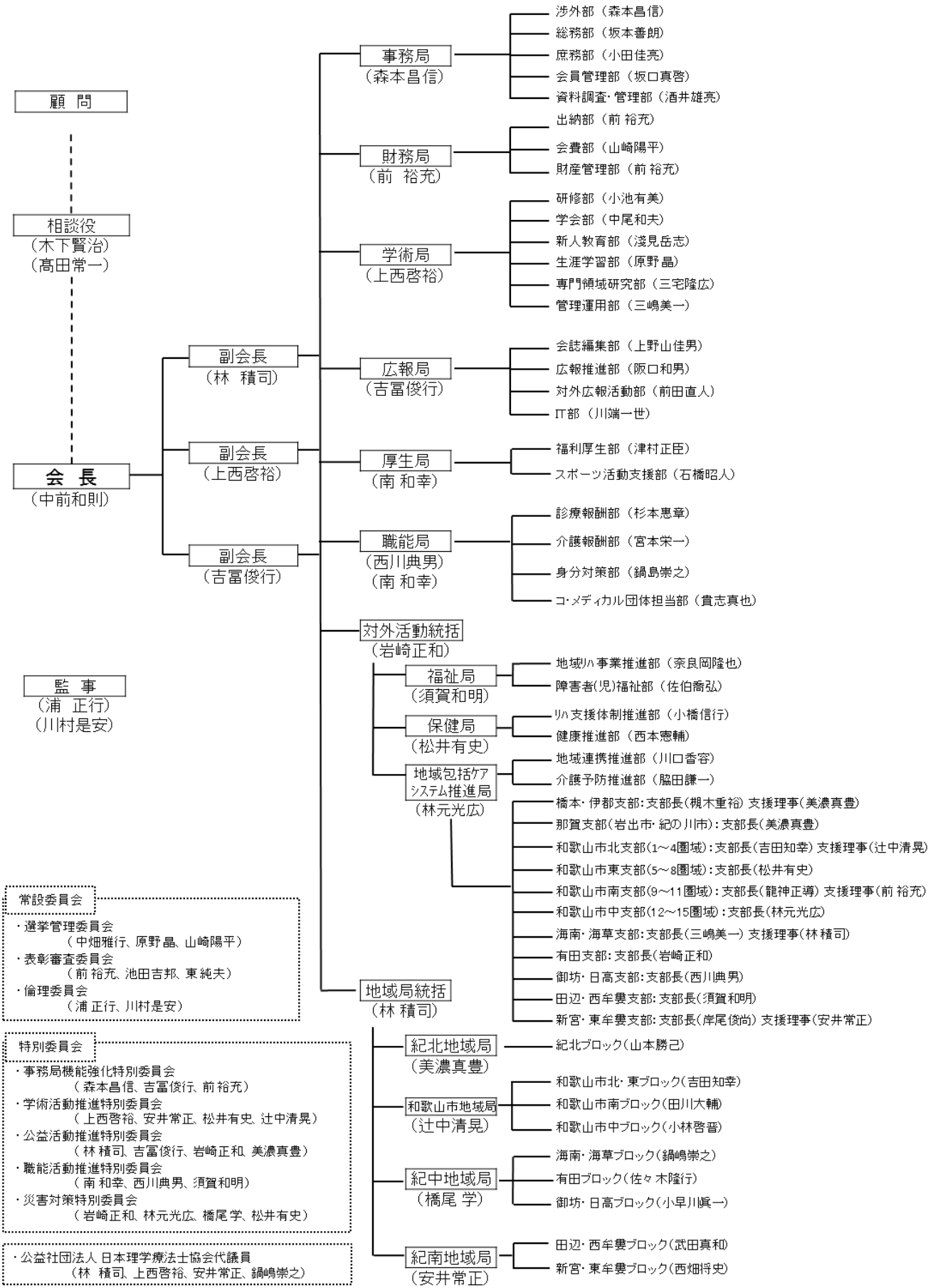
8）財務局：
①昨年度の会費徴収結果と、今年度の予定について報告
②事業実施における計画・予算に提出、事業広告・決算、源泉に係る報告の速やかな対応と協力を依頼する。
③熊本・大分の災害における義援金について（35 万円弱）、熊本県のほうに被害が大きく今後の支援活動に役立てて頂けると考えられることより、熊本県に送金することとする。

9）代議員
①6 月 4 日に定時総会開催の中で、日理協は各県士会で事務所を設けて事務局機能の強化を図るよう促された。それに対して日理協が各県士会へ資金支援（和歌山県へは 700 万円程度と見込まれる）を行うことを検討している。
②日理協では来年度に役員選挙があるが、定時総会の中で代議員による選挙になる（和歌山は 4 票）。

3. その他
日理協より事務所資金を支援してもらえるなら、会館建設基金（特定資産）とあわせて事務所購入について前向きに検討していきたい。

次回理事会　9 月 10 日（土）15:30～　ビッグ愛 12 階　協会事務所

公益社団法人 和歌山県理学療法士協会 （新）執行機関組織図



広報局より

広報局担当理事　　吉冨　俊行

◇「リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2016 わかやま“想いつながる” 24 時間」参加報告

日　時：平成 28 年 5 月 14・15 日
場　所：和歌山城　砂の丸広場
参加者：中尾（きび訪看）、石橋・井澗（済生和歌山）、阪口（海南医療）
西本（貴志川リハ）、龍神（龍神整形）、畑山（辻秀輝）、松井（国際厚生）
高根・安達・玉置・前馬・内原・里村・岡本・吉冨（日赤）

2016 年 5 月 14 日（土）から 5 月 15 日（日）にかけて、和歌山城砂の丸広場において、リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2016 わかやま“想いつながる” 24 時間が開催されました。この活動は 1985 年にアメリカで始まった国際的ながん患者支援のチャリティーイベントで、日本では 2006 年から各地で開催され、和歌山は今年で 3 回目となります。当初は熊本と和歌山で開催される予定でしたが、熊本は震災の影響で開催が延期となり和歌山単独での開催となりました。熊本からは願いとメッセージの書かれたフラッグが届き、開会式では震災で亡くなられた方々への黙とうも行われました。当協会は第 1 回目から参加し、福祉・保健局との合同でこれまではブースにて、がんのリハビリ相談等を実施していましたが、今年は 24 時間ランにも参加し、タスキを繋ぐことでがん征圧への願いを込め、また会員同士や一緒にブース出展した作業療法士会の会員との絆を深め合うことができました。24 時間ランには作業療法士会や和歌山国際厚生学院学生のご参加も頂き、夜中も休むことなくタスキリレーが実施できました。天候にも恵まれ日中は汗ばむ陽気でしたが夜中は冷え込みが強く、寝袋に足を入れて休息をとりました。2 日目の朝 7 時からは参加者全員で体操を行い、ステージ上に理学療法士協会会員 3 人が上がり、朝日を浴びて 30 分間しっかりと皆さんに運動の指導を行いました。新緑に囲まれた和歌山城やライトアップされた和歌山城を見ながら、適度に走り休憩し、夜は参加者とキャンプ気分でランタンのほのかな灯りの下、楽しく語り合いができました。参加して頂いた皆様、本当にお疲れ様でした。有難うございました。

来年もよりパワーアップして盛り上げ、協会の楽しい恒例事業にしていきたいと思いますのでご協力の程よろしくお願い申し上げます。また、走ることに興味のある会員の方々のご参加もお待ちしています。

「リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2016 わかやま」に参加して

貴志川リハビリテーション病院　　西本　憲輔

2016 年 5 月 14 日(土)～15 日(日)、和歌山城砂の丸公園にて、がん患者支援チャリティーイベントである「リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2016 わかやま」に参加しました。がん征圧を目指し、がん患者や家族・支援者らがグラウンドを交代しながら歩き、勇気と希望を分かち合うイベントです。

和歌山県理学療法士協会では、会場にブースを設け、24 時間たすきをつなぎ続ける「リレーウォーク」に参加しながら、ランナーに対するテーピング実施、高齢者に対する生活相談等も行いました。私は 2 日目の 7 時からフィナーレまで参加させていただきました。夜中にたすきをつなぎ続けていたスタッフの疲労感は相当なものであったと思いますが、フィナーレを迎えた時の達成感と感動を会場全体で分かち合うことができました。

来年度は、参加していただく理学療法士が増えることを期待しています。

ブロック通信

第 3 ブロック　　辻整形外科　　倉橋　典也

みなさん、初めまして辻整形外科の倉橋典也と申します。今年度も 3 カ月が経ち、新人の方も職場や仕事に慣れてきた頃でしょうか。

さて、今回は私の最近行っている趣味活動と目標について、簡単ではありますがご紹介させていただきます。

私の職場はスポーツ好きが多く、仕事が終わった後などにスポーツをすることがあります。フットサル・テニス・野球・ジョギング・自転車と様々なスポーツを行っています。その中で最近の一番は、自転車でのツーリングです。私たちが乗っている自転車は、クロスバイクといってマウンテンバイクとロードバイクの間のような自転車です。私は、去年自転車競技に影響されクロスバイクを購入しました。始めたころは、クロスバイクの前傾姿勢がしんどく近場を少し走るだけだったのですが、何度か走っているうちに、「もっと前傾したほうがペダルを踏み込みやすいな」、「少し大きめのペダルを買って引き足に力を入れたほうがいいな」など奥が深い自転車の魅力にはまっていき、今では職場の人と数人で奈良の五条まで行ったり、紀美野町にあるジェラート屋さんまで行ったりしています（写真は作業療法士の釜中先生）。頑張ってたどり着いた場所で食べる料理はすごく美味しいです！

自転車やランニングなどをしていてできた目標はトライアスロンに出ることです！

これからもトレーニングを欠かさずにトライアスロンの出場権を獲得して完走できるよう頑張ろうと思います。

厚生局より

◇第 22 回 WPTA ゴルフコンペ

海南医療センター　　阪口　和男

平成 28 年 5 月 8 日(日)印南町のラ・グレースゴルフ倶楽部において第 22 回 WPTA ゴルフコンペが開催されました。連休明けの日曜日でしたが 22 人の参加者があり、OT 協会から 1 名、ST 協会から 1 名の参加も頂きそれぞれに交流を深めることが出来ました。今回は比較的若い会員の方でゴルフ初心者の参加もあり、先輩から色々と教えてもらいながらのラウンドとなった会員もあったようです。優勝はいつも冷静で安定したゴルフをする琴の浦リハの森本先生でした、おめでとうございます。快晴に恵まれた中、参加された方は一様に楽しい 1 日を過ごせた事と思います。

◇平成 28 年度新人歓迎懇親会報告

福利厚生部長　　津村　正臣

平素は福利厚生局の事業に御協力頂きましてありがとうございます。また、新入会員の先生方、国家試験合格おめでとうございます。

去る 6 月 25 日にダイワロイネット和歌山にて平成 28 年度和歌山県理学療法士協会新人歓迎懇親会が行われました。当日は県内各地より新入会の先生方並びに既会員の先生方、合計 159 名もの多数の参加を頂きました。誠にありがとうございました。

毎年恒例の新人の先生方の自己紹介、毎年恒例の津村のつたない司会進行にも関わらず、先生方の御協力のおかげもあり、大盛り上がりの後に終宴となりました。新人の先生方においては、他病院や他施設の先生方への挨拶や名刺交換等で慌ただしかった事と思いますが、楽しんでいただけましたか？

このようなざっくばらんな会を機に、協会活動にもどんどん参加していただければ幸いです。ありがとうございました。

職能局より

◇平成 27 年度職能局研修会報告

診療報酬部　　杉本　恵章

平成 28 年 3 月 27 日に和歌山県立医科大学講堂におきまして、平成 27 年度社会局研修会が開催されました（参加 164 名）。

今回は公益社団法人 日本理学療法士協会 職能関連業務執行理事であります佐々木嘉光先生より「平成 28 年度診療報酬の概要」について説明がありました。

今回のリハビリテーションにおける主な改定項目として、①回復期リハビリテーション病棟におけるアウトカムの評価 ②回復期リハビリテーション病棟入院料体制強化加算の施設基準の見直し ③ADL 維持向上等体制加算の施設基準の見直し等 ④初期加算、早期加算の算定要件等の見直し ⑤廃用症候群リハビリテーション料の新設 ⑥要介護被保険者の維持期リハビリテーションの介護保険への移行等 ⑦心大血管疾患リハビリテーション料の施設基準の見直し ⑧生活機能に関するリハビリテーションの実施場所の拡充 ⑨運動器リハビリテーション料の評価の充実 ⑩リハビリテーション専門職の専従規定の見直し ⑪リンパ浮腫の複合的治療等が挙げられます。これらの項目について要点を絞った非常に分かりやすい説明で、かつ豊富なデータを基に説得力のある内容でした。我々の「質」の向上により結果を出していく事が大変重要であるとのお話でした。お話の中で、我々理学療法士の利益追求でなく「国民のために」という言葉が非常に印象に残りました。

続いて管理者研修としまして、公益社団法人 日本理学療法士協会 副会長 小川克己先生より「協会が期待する都道府県士会組織強化と管理者のネットワーク化」、公益社団法人　和歌山県理学療法士協会 会長 中前和則先生より「公益社団法人 和歌山県理学療法士協会における士会組織化の方向性と管理者の協力体制」というテーマについて講演されました。それぞれ日本理学療法士協会、和歌山県理学療法士協会の立場から組織力強化についてお話がありました。

小川先生の講演では都道府県士会の組織力強化が求められる背景として、地域包括ケアシステムをはじめとする国策の軸が都道府県や市町村にシフトしてきているためであるとの事でした。都道府県士会の組織力強化には地域の実情に応じた「生活圏域」をカバーできる士会組織の再編が必要と述べています。そのためには地域で活躍する理学療法士部門の管理者の協力や管理者同志のネットワークが重要であるとの事でした。

これらの話を踏まえた上で、我々理学療法士の将来「夢」をどうしていくのかという事でお話がありました。「夢」のためには原点回帰が重要であり、リハビリテーション、理学療法の原点は何なのか振り返る必要があると話されました。それぞれの言葉の持つ意味、専門性を考える時期に来ているとのお話でした。最後にセラピストに不可欠な資質としてマネジメント能力、専門職としての技量と人間力、社会人としての常識と教養を磨き上げていって頂きたいと締めくくられました。

対外活動統括より

対外活動統括担当理事　　岩崎　正和

今年度より対外活動統括担当理事として就任しました岩崎です。昨年度までは福祉保健局として活動しておりましたが、昨今の地域包括ケアシステムに理学療法士協会として対応すべく、局の細分化を行いました。福祉局に白浜はまゆう病院の須賀和明先生、保健局に和歌山国際厚生学院の松井有史先生、今年度より新設されました地域包括ケアシステム推進局に訪問看護ステーションはやしもとの林元光広先生が担当理事として就任いたしました。そして 3 つの局の統括する役割の対外活動統括担当理事として私、岩崎が担当する運びとなりました。

社会のニーズに合わせられるよう和歌山県理学療法士協会の対外的な活動を活発に行っていく所存でありますので今後とも会員の皆様のご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

◇【新設】地域包括ケアシステム推進局

地域包括ケアシステム推進局担当理事　　林元　光広

日本理学療法士協会におきましては、地域包括ケアシステムの構築を推進すべく「地域ケア会議」と「介護予防」を重点施策として取り組んでいるのはご周知のとおりです。

当局はこれらの取り組みを県下に広げるべく、今年度新設されました。平成 26～27 年度は福祉・保健局内の地域包括ケア推進部として、①地域包括ケア・介護予防推進リーダー導入研修開催 ②ステップアップ研修開催 ③毎年 7 月に全国 47 都道府県士会一斉開催の「介護予防推進キャンペーン」開催（今年は 7 月 17 日：紀の川市の予定） ④和歌山市や那賀圏域を中心に地域ケア会議や介護予防事業への参画のための活動等を行って参りました。

今年度からは上記の事業を引き続き行うことに加えて、県下を 11 支部圏域に整理して支部長を配置しました。「地域包括ケアシステム」は地域の実情に合った対応が必要ですが、前例のないことへの挑戦が続きます。みなさんがお住まいの地域、事業所の所在する地域、患者さんや利用者さんが暮らす地域、地域なしにはリハビリテーションは語れません。地域の視点を持ち素晴らしい治療技術と指導方法を備える私たち理学療法士が地域づくりに関わる利点は想像に難くありません。日々の業務と生活でお忙しい先生方も「ほんの 2 時間」地域のために活動してみませんか。そんな啓発活動も行う局になります。どうぞよろしくお願いいたします。

◇「リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2016 わかやま」事業参加

福祉局長　　須加　和明

今年で 3 回目となります。福祉局と広報局と合同事業として参加いたしました。「リレー・フォー・ライフ」とは、がん征圧を目指し、がん患者や家族、支援者らが夜通し交代で歩き、勇気と希望を分かち合うチャリティーイベントです。世界 20 か国、国内では 40 カ所以上で開催され、世界中で毎年 400 万人以上が参加する事業で、今回は和歌山県理学療法士協会、和歌山県作業療法士会と協力し、ブース出展を行いました。ブース出展内容としては、「医療（リハビリテーション）相談」「理学療法事業啓発」とがん患者さんや家族を対象に「リハビリ相談」所を設置しました。また今年より 24 時間マラソンも PT、OT 協会合同で参加しております。ご協力・ご参加いただきました先生方、ありがとうございました。

日　時：平成 28 年 5 月 14・15 日
場　所：和歌山城　砂の丸広場
内　容：ブースを設けて、医療相談・理学療法士協会事業啓発など、24 時間マラソンリレー
参加者：中尾（きび訪看）、石橋・井澗（済生和歌山）、阪口（海南医療）
　　西本（貴志川リハ）、龍神（龍神整形）、畑山（辻秀輝）、松井（国際厚生）
　　高根・安達・玉置一・前馬・内原・里村・岡本・吉冨（日赤）

「リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2016 わかやま」に参加して　　和歌山国際厚生学院　　松井　有史

リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2016 わかやまというイベントが和歌山城の砂の丸広場で行われ、参加しました。今年で 3 回目となるイベントです。毎年 24 時間走り（歩き）続けるイベントは参加せずブース出展のみでしたが、今年は広報局担当の吉冨先生の強い？希望もあり、24 時間走り続けるイベントにも参加することになりました。しかし、メンバーが足りない！！とのことですので急遽本校の 3 年生の学生を誘うことに！夜の 9 時から朝の 6 時までほぼ学生担当で走り続けました。それまでのスローガンは「なるべくゆっくり走って、時間を稼ごう！」でしたが、学生に変わった後から「早く走って周回を稼ごう！」となり、学生はほぼ全力疾走で夜明けまで足り続けました。その結果、、、「来年はいきません！」とのこと。とほほ。　来年は下の学年を誘おうと心に決めた瞬間でもありました。

そんな楽しい会ですので、ガン患者さんの支援をしつつ来年も走りたいと思います。来年も行う予定です。皆様、健康志向・ダイエットにいかがでしょうか？

地域局より

【和歌山市地域局】

和歌山市地域局担当理事　　辻中　清晃

平成 28 年度第 1 回和歌山市中ブロック会議
　日　時：平成 28 年 5 月 11 日（水）19：00～20：30
　場　所：角谷リハビリテーション病院　スタッフ室
　内　容：和歌山市地域局研修会準備
　　メディカルサポート講習会及びサポート事業準備
　　今年度の事業計画
　参加者：小林、井澗、風神、高根、鳥居、辻中

和歌山市地域局研修会（和歌山市中ブロック担当）
　日　時：平成 28 年 5 月 15 日（日）9：00～15：00
　会　場：和歌山労災病院　リハビリテーション室
　内　容：頚部及び肩の触診について
　講　師：中図　健先生（一般社団法人療創会通所介護なかずリハビリテーションセンター代表　作業療法士）
　参加者：21 施設 43 名

「和歌山市地域局勉強会」に参加して　　**角谷リハビリテーション病院　　池田　一樹**

平成 28 年 5 月 15 日(日)に和歌山労災病院にて開催された和歌山市地域局勉強会に参加し、肩関節障害に対する問題点・治療の考え方や、実際に肩関節周囲の触察法、治療法について学ぶことができました。

また講師である、なかずリハビリテーションセンターの中図先生よりデモにて実際に組織の触察や関節の操作をしていただくことで､治療場面におけるハンドリングの方法についてなど直接自分の体を通して経験できたことにより、さらに理解を深めることができたと思います。

私は理学療法士となり 2 年ほどの経験になりますが、触察や治療において自身の手の用い方などまだまだ上手くできていない部分があり、今回実際に中図先生の触察の仕方などを見学することができ、参考にさせて頂くことができたのは貴重な経験となりました。

今回この勉強会を通して、肩関節周囲に限らず解剖書と照らし合わせつつ、各関節の理解を深めながら触察技術をさらに磨いていこうと改めて感じました。

各委員会より

■選挙管理委員会より■

役員改選の報告

選挙管理委員会委員長　　中畑　雅行

平成 28 年 5 月 22 日（日）和歌山県立医科大学講堂にて、研修会及び平成 28 年度定期総会が開催されました。本年度は任期満了に伴う役員改選ということで立候補受付を行った結果、理事・監事は全て定数以内で全員無投票当選となり、総会において承認されました。また総会後、理事による互選によって、中前先生が会長として選定されました。中前会長をはじめ新執行部の各先生方、任期期間中大変お忙しいと思われますが、よろしくお願いいたします。

＜新規役員＞

【理事】

中前　和則（琴の浦リハビリテーションセンター）
林　　積司（辻秀輝整形外科）
安井　常正（新宮市立医療センター）
前　　裕充（琴の浦リハビリテーションセンター）
森本　昌信（琴の浦リハビリテーションセンター）
西川　典男（老人保健施設　リバティ博愛）
上西　啓裕（和歌山県立医科大学附属病院）
吉冨　俊行（日本赤十字社和歌山医療センター）
林元　光広（訪問看護ステーション　はやしもと）
南　　和幸（済生会和歌山病院）
岩﨑　正和（栗原整形外科）
須賀　和明（白浜はまゆう病院）
松井　有史（和歌山国際厚生学院）
美濃　真豊（赤ひげクリニック）
辻中　清晃（和歌山労災病院）
橋尾　　学（国保日高総合病院）

【監事】

川村　是安（南和歌山医療センター）
浦　正行（稲田病院）

※選挙管理委員として私、和歌山労災病院の中畑と原野晶先生、琴の浦リハビリテーションセンターの山﨑陽平先生が総会で承認されました。

事務局より

他団体・他士会からのニュース　学術誌の受領報告（H28.2.23～H.28.6.17）

【ニュース】

（公社）岐阜県 No.115.116.
（公社）新潟県 No.173.174.
（公社）滋賀県 No.194.195.196.
（公社）広島県 No.242.243.
（公社）愛知県 No.180.181.
（公社）神奈川県 No.267.
（公社）秋田県 No.169.No.170.
（一社）群馬県 NoS.125.
（公社）鹿児島県 No61.62.63.
（公社）山梨県 No.147.
（公社）大分県 No.106(167).
（一社）静岡県 No.154.155.156.
（公社）大阪府 No.253.254.255.
（一社）京都府 No.268.
（一社）埼玉県 No.84.

【学術誌・学会誌・機関誌・記念誌】

・日本理学療法士連盟　平成 28 年通常総会資料
・関東甲信越ブロック協議会 40 周年記念誌
・第 29 回鹿児島県理学療法士学会　プログラム・抄録集
・理学療法 技術と研究　第 44 号　神奈川県理学療法士学会抄録
・第 33 回神奈川県理学療法士学会　抄録集
・和歌山県病院協会会報　平成 28 年 3 月号　No.231
・社団法人 岐阜県理学療法士会 学術誌第 20 号
・和歌山県病院薬剤師会会誌　2015　第 24 号
・理学療法の科学と研究（千葉県）　2016,Vol.7　No.1
・創立四十周年記念誌　滋賀県理学療法士会　2015
・「自治体等に所属している理学療法士、作業療法士の地域保健活動の推進と実態把握に関する調査研究」　平成 27 年度
・静岡理学療法ジャーナル　第 32 号（第 20 回　静岡県理学療法士会学会誌）
・理学療法京都　No.45,2016
・滋賀県理学療法士会会誌　湖都　第 35 号 2015
・理学療法研究　長野　No.44　2015 年度
・運動器痛等に配慮した医師・保健師・管理栄養士・理学療法士等の協働による宿泊型保健指導　報告書
・「通所・訪問リハビリテーションの適切な実施に関する調査研究事業」　報告書
・「通所・訪問リハビリテーションの適切な実施に関する調査研究事業」　訪問リハビリテーションマネジメントマニュアル
・和歌山県言語聴覚士会　News Letter　第 30 号
・一般社団法人　和歌山県放射線技師会　2016　和放技雑誌 No.10
・理学療法新潟　Vol.19,2016
・和歌山県病院協会会報　平成 28 年 5 月号　No.232

以上の刊行物をご覧になりたい方は、
事務局、資料調査・管理部の酒井雄亮氏（琴の浦リハビリテーションセンター）までお問い合わせ下さい。

■事務局からのお願い■

庶務部より

庶務部長　　小田　佳亮

施設長名変更時のお願い

変更があった場合、速やかに協会庶務宛にFAXまたはメールにてご連絡下さい。
協会事務局FAX：073-446-1207
メールアドレス：wpt-shom@pt-wakayama.or.jp
記載の内容に関しては、変更前の氏名と変更後の氏名の両方を記載お願いします。
また、フリガナの記載もよろしくお願い致します。
FAXにて送信して頂く場合は文字を大きめで崩さずに記載して頂けるようにお願いします。

会員異動申請について

会員の皆様の中で、自宅会員として異動申請される方がいます。
日本理学療法士協会において、会員区分として下記のとおり勤務先をもつ会員は勤務先会員となります。
これは、和歌山県理学療法士協会でも同様です。
自宅会員とは勤務先を持たない会員のことです。パート勤務の会員で、現在の登録が自宅会員となっている先生方は、再度異動申請の手続きをお願いいたします。

【会員区分について】

勤務先会員	勤務先をもつ正会員 ※非常勤の方も勤務先をもつ場合は勤務先会員をご選択ください
自宅会員	勤務先をもたない正会員および休会会員
海外会員	海外に居住する正会員

【所属都道府県士会について】

勤務先会員	勤務先がある県の士会に所属
自宅会員	自宅がある県の士会に所属

（日本理学療法士協会　HPより）

編集後記

今年度から広報局対外広報活動部長に就任しました前田です。広報局を大々的に盛り上げながら仕事をしていくのはまだまだ力不足ですが、みなさんと力を合わせて各局や和歌山県理学療法士協会をしっかりと広報していきたいと考えています。よろしくお願いします。

このニュースが皆さんのお手元に届く頃、新人会員の方は、職場の雰囲気や仕事に慣れ始めた時期かもしれませんね。少し、気持ちが落ち着いてきたときに、疲れから体調を崩しやすくなりますので、しっかりと休息をとることも必要です。自己に対するマネジメント能力を高めることも、仕事を長く続ける秘訣です。また、何か仕事でつまずいた場合、同僚や職場の上司にもしっかりと相談していくことが大切です。気兼ねせずに相談して、心身のバランスを保ちましょう。

さて、今年度は約80名の新人会員が入会され、和歌山県理学療法士協会も1,100名を超える組織となりました。それに伴い、病院や施設だけでなく、訪問看護ステーションや通所リハビリテーションなど私たちが働く環境は拡大しています。地域包括ケアが推進され、これから私たちが積極的にアピールしていかなければならない職域も存在します。7月10日の参議院選挙で日本理学療法士協会副会長の小川かつみ先生が当選されました。これは理学療法士にとって大きな一歩だと思います。小川先生に障がい者・高齢者の代弁者として、また理学療法士の代表として託すだけではなく、私たち一人ひとりが力をつけ、自分達で職域の確立・拡大を行えるように頑張りましょう。

今年度は、大きなイベントとして11月26日、27日に近畿理学療法学術大会が6年ぶりに和歌山で開催されます。著名な先生方の講演や多くの発表を通して、自己研鑽や新たな気付きに繋がるような有意義な大会にしたいと考えています。みなさんの力で大会を盛り上げていきましょう。協力の程よろしくお願い致します。

（広報局対外広報活動部長　　前田　直人）

公益社団法人

和歌山県理学療法士協会

公益社団法人 和歌山県理学療法士協会
【事 務 局】
琴の浦リハビリテーションセンター内
〒641-0014 和歌山市毛見1451
TEL 073(499)5000